

令和4・5年度 第5回社会教育委員会議高津市民館専門部会 摘録

日 時：令和5年6月23日（金）13時30分～15時10分

会 場：高津市民館11階 第1・2会議室

出席者：迎部会長、角田副部会長、志水委員、仙北谷委員、田村委員、松崎委員、川口委員、渡部委員

欠席者：なし

事務局：坂尾館長、岡部分館長、細谷係長、下間係長、白井職員（記録）

傍聴者：なし

1 開会（進行：下間係長）

・開催要件が満たされたことを確認

・資料確認

①令和4・5年度 第5回社会教育委員会議高津市民館専門部会 次第

②令和4・5年度 第5回社会教育委員会議高津市民館専門部会 名簿

③川崎市社会教育委員会議規則（資料1）

④令和4・5年度 第4回社会教育委員会議高津市民館専門部会 摘録（案）（資料2）

⑤令和4年度 工事執行実績（資料3）

⑥令和5年度生涯学習支援課（高津市民館・橘分館）事業一覧（資料4）

⑦令和4・5年度高津市民館専門部会 調査審議事項について（案）（資料5-1）

⑧令和5年度高津市民館青少年教室事業「小学生のための絵本作り講座」アンケート（案）
（資料5-2）

⑨事業チラシ及び高津市民館だより・プラザ橘だより 全24枚

2 委嘱状交付

坂尾館長より川口委員へ委嘱状を交付。

（高津区PTA協議会 副会長・佐藤恵介委員→同協議会 副会長・川口尚志委員へ交代）

3 委員及び職員紹介

委員、職員の順で紹介。

4 館長挨拶

坂尾館長より挨拶。

5 部会長挨拶

迎部会長より挨拶。

6 議事事項（進行：迎部会長）

（1）第4回専門部会摘録（案）について

資料2を確認、修正等はなし。

（2）令和4年度高津市民館・橘分館工事執行実績について

下間係長より資料3をもとに説明を行った。

Q：LED照明の寿命はどれくらいか？（迎部会長）

A：一般的な蛍光灯が1年に対して4倍の4年程度。照明分の電気料で、1/4程度に減少。

6 議事事項

(2) 令和4年度高津市民館・橘分館工事執行実績について（続き）

Q：電気料が高騰している。市民館は電気代の助成を受けられるか？（松崎委員）

A：受けられない。市民館に限らず川崎市の施設全体で費用がかかり、負担が大きい。

(3) 令和5年度高津市民館・橘分館事業計画について

細谷係長より資料4をもとに説明を行った。

Q：識字ボランティア入門研修の受講者に受講修了書は出ているか。（迎部会長）

A：出していない。市民館全館で足並みを揃える必要があるため会議等で検討する。

(4) 高津市民館専門部会の調査審議事項について

坂尾館長より資料5-1及び資料5-2をもとに説明を行った。

Q：（市民アンケートについて）小学生低学年には難しくないか？（松崎委員）

A：アンケートにあるとおり、おうちの人と一緒に記入していただく。

Q：絵本講座の受講者は？子どもだけならおうちの人と書けないのでは？（志水委員）

A：子どもだけの参加。抽選結果をメールで保護者あてに送信しているので、メールでアンケートをやり取りするなど考えられる方法を考える。

Q：講座に来ていない人へのアプローチはどうするか？（迎部会長）

A：調査の内容によっては、まったく市民館に来ていない方にアンケートを取る方法もあるが、今回の調査目的がある「どういう講座ならまた参加したいか？」といったところになるので、実際に講座の参加者をターゲットにしている。

Q：後からアンケートを回収するのは困難。回収率が悪いのでは？（志水委員）

A：その場で書くことが基本線で、記入が難しい人は一度持ち帰る方法もある。

Q：講座の一連の流れでアンケートを記入すれば回収率が高まるのでは？（川口委員）

A：1～6年生までいる中で圧倒的に低学年が多いこともあり、子ども1人だけで書くことは難しい。メールでアンケートを送付し、受講した本人の気持ちを聞きつつ、保護者の御意見を聞くことができる良い機会になると考えている。

→送り迎えに来た保護者に直接渡してみたら良いと思う。（川口委員）

Q：建築講座に来た子どもだけではなく、保護者もアンケートを対象にしてはどうか？子どもだけではなく、親向けアンケートをとりたい。（迎部会長）

→（資料5-2の）アンケートは親子兼用になっている。子どもを通して親向けのアンケートを作ること子どもを通し（市民館事業に）関わってくれると思う。

（川口委員）

→集計時に迷わないように、親向けなのか、子ども向けなのかという区分けは必要（迎部会長・渡部委員）

Q：このアンケートの1番の目的は「開いてもらいたい講座」なのか？（田村委員）

A：市民館利用に結びついていない層の人たちをどのように巻き込んでいくかという中で、どういう講座に興味があるのかを知り、それに寄せた講座を企画してみる方法もあると考えている。

6 議事事項

(4) 高津市民館専門部会の調査審議事項について（続き）

<意見>

- ・アンケート方法を記述式ではなく、二次元コードでアンケートページに誘導する形を取り入れたら良いのではないかと。（渡部委員）
- ・自由記入ではなく、選択肢を設けた方が良い。（迎部会長）
- ・大人にとっても、子どもにとっても答えやすい形を考えた方が良い。（仙北谷委員）
- ・講座に参加した人だけでなくたくさんの人からアンケートを取る、市民館にきている高齢者からアンケートを取るなどしていかないと規模が小さく、少人数では市民館に求められていることを導き出せない。（田村委員）
- ・市民館では区PTAや地域教育会議が活動している。そういう部分で小学生・中学生ともつながりがあるので、そういうチャンネルを使いながら、講座に来た対象層だけではない広がりでもやることも考えられる。（角田委員）

7 その他（進行：下間係長）

(1) 今後の開催日程（案）について

第6回 10月17日（火）13時30分～15時30分

第7回 12月 5日（火）13時30分～15時30分

第8回 2月24日（土）13時00分～17時00分

以上のとおり決定。

(2) コピー機及びイベントスペースの利用について（田村委員）

- ・コピー機がなくなり不便という声がある。
 - コピー機の利用実績（歳入）やリース期間（2年間）の兼ね合いでコピー機リースの受託者業者が現状いない。
 - 市でベンダー式コピー機を保有している。コピー機が壊れた時期が4月に入ってからだったためコピー機が出払っている状況。空きがでたら第一優先で高津市民館に融通してもらおうよう依頼している。
- ・イベントスペースに座れる場所、待ち合わせできる場所を作ってほしい。
 - コロナ禍前は椅子を設置していたが当時1日中そこに座っている人がいた。現在も定期的にやってくる方がいる状況もあり、現在はイベントをするためのスペースとして位置づけを変えている。受付に声をかければ部分的に対応も可能だと思うが、常時設置は難しい。

8 閉会

※委員会後（下間係長）

- ・建築講座をターゲットに1回アンケートを実施して、第6回でその結果を出してみてもどうか？
学校単位で数百ものアンケートは職員では分析が難しい。
- ・実質あと2回で成果を出さないといけないので、アンケート→回答まとめ→成果物作成

以上